



令和6年度保険者機能強化推進交付金 及び 介護保険保険者努力支援交付金について



本物力こそ桑名力

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金 (インセンティブ交付金)について

●概要

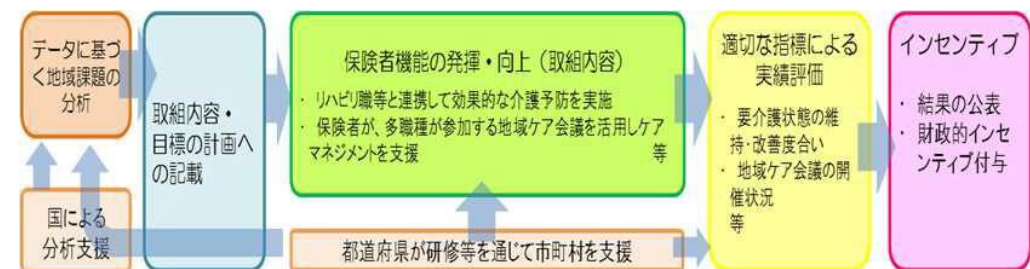
各市町村が行う高齢者の自立支援・重度化防止の取組及び都道府県が行う市町村支援の取組に対し、それぞれの評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に応じて、国から保険者機能強化推進等交付金を交付。

令和2年度からは、介護保険保険者努力支援交付金（社会保障の充実分）を創設し、介護予防・健康づくり等に資する取組を重点的に評価。

●主な評価指標

- ①PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化
- ②ケアマネジメントの質の向上
- ③多職種連携による地域ケア会議の活性化
- ④介護予防の推進
- ⑤介護給付適正化事業の推進
- ⑥要介護状態の維持・改善の度合い

【交付金を活用した保険者機能の強化のイメージ】



令和6年度【全国】保険者機能強化推進交付金等に係る (市町村分)得点状況<推進+支援>

	保険者機能強化推進交付金											介護保険保険者努力支援交付金											合計			
	目標Ⅰ 持続可能な地域 のあるべき姿			目標Ⅱ 公平・公正な給 付を行う体制の構築			目標Ⅲ 介護人材の確保 その他のサービス提供基 盤の整備			目標Ⅳ 高齢者 の状況 に応じ た自立 した日 常生活	推進 交付金 合計	目標Ⅰ 介護予防/日常 生活支援の推進			目標Ⅱ 認知症総合支援 の推進			目標Ⅲ 在宅医療・在宅 介護連携の構築			目標Ⅳ 高齢者 の状況 に応じ た自立 した日 常生活	努力 支援交 付金合 計				
	体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計	体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計	体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計			体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計	体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計	体制・ 取組指 標群	活動指 標群	小計			体制・ 取組指 標群計	活動指 標群計	アウト カム計	
配点	64	36	100	68	32	100	64	36	100	100	400	52	48	100	64	36	100	68	32	100	100	400	380	220	200	800
平均点	46.3	9.8	56.2	42.4	17.5	59.8	33.8	7.2	41.0	48.6	205.6	31.4	20.1	51.5	42.4	12.1	54.5	49.3	12.8	62.1	48.6	216.7	245.7	79.5	97.2	422.4
平均 得点率	72.4%	27.3%	56.2%	62.3%	54.6%	59.8%	52.9%	20.0%	41.0%	48.6%	51.4%	60.4%	41.9%	51.5%	66.3%	33.6%	54.5%	72.5%	40.0%	62.1%	48.6%	54.2%	64.6%	36.1%	48.6%	52.8%
中央値	48	9	58	44	16	60	34	6	41	50	209	33	20	52	44	12	56	53	12	66	50	222	252	80	100	428

令和6年度【桑名市】保険者機能強化推進交付金等に係る得点状況等〈推進＋支援〉

R6	保険者機能強化推進交付金											介護保険保険者努力支援交付金											合計			
	目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿			目標Ⅱ 公平・公正な給付を行う体制の構築			目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備			目標Ⅳ 高齢者の状況に応じた自立した日常生活（アウトカム指標群）	推進交付金合計	目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する			目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する			目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する			目標Ⅳ 高齢者の状況に応じた自立した日常生活（アウトカム指標群）	努力支援交付金合計				
	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計			体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計			体制・取組指標群計	活動指標群計	アウトカム計	
配点	64	36	100	68	32	100	64	36	100	100	400	52	48	100	64	36	100	68	32	100	100	400	380	220	200	800
全国市町村平均点	46.3	9.8	56.1	42.4	17.5	59.9	33.8	7.2	41.0	48.6	205.6	31.4	20.1	51.5	42.4	12.1	54.5	49.3	12.8	62.1	48.6	216.7	245.7	79.5	97.2	422
三重県平均	47	9.41	56.4	40.5	19	59.5	31	9.00	40	51.55	207.45	30.17	19.79	49.96	42.7	14.3	57	50.10	12.00	62.10	51.55	221	-	-	-	428
桑名市	64	18	82	52	28	80	46	15	61	70	293	47	28	75	64	30	94	68	20	88	70	327	341	139	140	620
桑名市得点率	100.0%	50.0%	82.0%	76.5%	87.5%	80.0%	71.9%	41.7%	61.0%	70.0%	73.3%	90.4%	58.3%	75.0%	100.0%	83.3%	94.0%	100.0%	62.5%	88.0%	70.0%	81.8%	89.7%	63.2%	70.0%	77.5%
平均得点率	72.4%	27.3%	56.2%	62.3%	54.6%	59.8%	52.9%	20.0%	41.0%	48.6%	51.4%	60.4%	41.9%	51.5%	66.3%	33.6%	54.5%	72.5%	40.0%	62.1%	48.6%	54.2%	64.7%	36.1%	48.6%	52.8%

【全国順位】 10位／1,741保険者 ← 29位（R5年度）
【県内順位】 1／29保険者

令和6年度保険者機能強化推進交付金(市町村分)評価結果

保険者機能強化推進交付金				
評価指標	配点	市得点/【得点率】	主な減点に関する項目	今後の対応等について
目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする				
目標Ⅰ- (i) 体制・取組指標群	64	64		
目標Ⅰ- (ii) 活動指標群	36	18 【市: 50.0%】 (全国: 27.3%)	・後期高齢者数と給付費の伸び率 上位5割 ・2022年度にけるPFS委託事業数 ; 0	・PFSについては、全国でも4%程度の実施率。PFSでの実施が適切な事業について、他市町の状況等の調査研究からはじめていく予定。
目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する				
目標Ⅱ- (i) 体制・取組指標群	68	52 【市: 76.5%】 (全国: 62.3%)	・介護給付費の適正化に向けた方策を分析のうえ、策定しているか。 ・介護給付費適正化事業（福祉用具購入費・住宅改修費の申請内容について、リハビリテーション専門職等がその妥当性を検討）を効果的に実施しているか。	今年度対応済
目標Ⅱ- (ii) 活動指標群	32	28 【市: 87.5%】 (全国: 54.6%)	ケアプラン点検の実施割合	数値評価、上位3割に入っている。ケアプラン点検実施方法について、今年度からより効果的でケアマネジャーの負担にならない実施数、方法に変更している。
目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する				
目標Ⅲ- (i) 体制・取組指標群	64	46 【市: 71.9%】 (全国: 52.9%)	・地域における介護人材の確保・定着のため、都道府県等と連携しつつ、必要な取組を実施、取組みの成果を公表しているか。地域における介護人材の将来的な必要数の推計を行い、これを公表しているか。 ・地域におけるサービス提供体制の確保等の推進に当たって、庁内・庁外における関係者との連携体制が確保し、高齢者の住まいの確保と生活の一体的支援に関する取組を実施しているか。	今年度対応済
目標Ⅲ- (ii) 活動指標群	36	15 【市: 41.7%】 (全国: 20.0%)	1. 高齢者人口当たりの地域住民に対する介護の仕事の魅力を伝達するための研修の修了者数 2. 高齢者人口当たりの介護人材（介護支援専門員を除く。）の定着、資質向上を目的とした研修の修了者数 3. 介護支援専門員を対象としたケアマネジメントの質の向上に関する研修（介護支援専門員法定研修を除く。）の総実施日数	1, 2. 今年度対応済 3. ケアマネジメントの質の向上に関する研修については、上位3割に入っている。
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む				
目標Ⅳ-成果指標群	100	70	長・短期的な要介護度の変化 健康寿命延伸の状況	上位3割に入っている
推進 計	400	293		

※ 国による数値評価

令和6年度介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)評価結果

介護保険保険者努力支援交付金				
評価指標	配点	市得点	主な減点項目	今後の対応等について
目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する				
目標Ⅰ-(ⅰ) 体制・取組指標群	52	47	通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、介護予防・生活支援サービス・一般介護予防事業の内容等の検討を行っているか。 イ) 毎年度、経年的な評価や分析等を行っているか 等	通いの場の箇所数・参加者数の把握は実施しているが、参加者の健康状態の把握や分析までは不十分。通いの場が増える中で、より効果的な把握対象、分析について先進地を参考にしながら、効率的・効果的な方法を検討していく。
目標Ⅰ-(ⅱ) 活動指標群	48	28	<得点0,あるいは全国で上位5割未満の項目> 高齢者のポイント事業への参加率、高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数 等	高齢者のポイント事業ーポイント対象について、より参加しやすい事業に向けてご意見をいただきながら適宜見直しを実施。生活支援コーディネーターについては、今年度配置を強化。
目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する				
目標Ⅱ-(ⅰ) 体制・取組指標群	64	64		
目標Ⅱ-(ⅱ) 活動指標群	36	30	高齢者人口当たりの認知症サポーター数・認知症サポーターステップアップ講座修了者数	サポーター数は上位3割、サポーターステップアップ講座修了者数は上位1割であり、十分であると考えている。
目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する				
目標Ⅲ-(ⅰ) 体制・取組指標群	68	68		
目標Ⅲ-(ⅱ) 活動指標群	32	20	入退院時情報連携加算算定者数割合、退院・退所加算算定者数割合等	いずれも上位5割程度に入っている。 なお、人生の最終段階における支援の状況（在宅ターミナルケアを受けた患者数の割合、在宅での看取り加算算定者数割合については上位3割に入っている。
目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む				
目標Ⅳ-成果指標群	100	70	軽度(要介護1・2)の方の短期的(1年)及び長期的の要介護度の変化状況	いずれも上位5割程度に入っている。 なお、中重度においては上位3割に入っている。
支援 計	400	327		
推進+支援 合計	800	620		

※ 国による数値評価